泉大津市文化財調査報告29

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報15

1997・3

泉大津市教育委員会

泉大津市文化財調査報告29

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報15

1997・3

泉大津市教育委員会

例　　言

1．本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である。

2．本調査は、国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額900,000円、国庫補助率50%、府補助率25%、市負担率25%）として、泉大津市が計画・実施したものである。

3．本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	塙　四郎
事　務　局	泉大津市教育委員会社会教育課	
調査担当者	泉大津市教育委員会社会教育課	虎間　麻実
外業調査員		辻川　陽一

4．本事業は、平成８年度事業として、平成８年４月１日に着手して、平成９年３月31日に完了した。

5．本書の執筆・編集は虎間が行った。

目　　次

第１章　埋蔵文化財調査の状況 …… 1
第２章　発掘調査成果 …… 7
池上曽根遺跡 …… 7
豊中遺跡 …… 10
虫取遺跡 …… 14
板原遺跡 …… 18
池浦遺跡 …… 21
大園遺跡 …… 24
七ノ坪遺跡 …… 26
報告書抄録 …… 巻末
挿　　図
第１図　遺跡分布図 …… 6
第２図　池上曽根遺跡調査地点図（1：5,000） …… 7
第３図　池上曽根遺跡　第１地点　掘削位置図 …… 8
第４図　池上曽根遺跡　第１地点　北壁断面図 …… 8
第５図　池上曽根遺跡　第２地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右） …… 9
第６図　豊中遺跡調査地点（1：5,000） …… 10
第７図　豊中遺跡　第１地点　掘削位置図 …… 11
第８図　豊中遺跡　第１地点　東壁断面図 …… 12
第９図　豊中遺跡　第２地点　掘削位置図（上）、南壁断面図（下） …… 13
第10図　虫取遺跡調査地点（1：5,000） …… 14
第11図　虫取遺跡　第１地点　掘削位置図 …… 15
第12図　虫取遺跡　第１地点　東壁断面図 …… 15
第13図　虫取遺跡　第２地点　掘削位置図 …… 16
第14図　虫取遺跡　第２地点　北壁断面図 …… 16
第15図　虫取遺跡　第３地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右） …… 17
第16図　板原遺跡調査地点（1：5,000） …… 18
第17図　板原遺跡　第１地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右） …… 19
第18図　板原遺跡　第２地点　掘削位置図（左）、西壁断面図（右） …… 19

第19図　板原遺跡　第３地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右）…… 20
第20図　池浦遺跡調査地点（1：5,000）…… 21
第21図　池浦遺跡　第１地点　掘削位置図 …… 22
第22図　池浦遺跡　第１地点　北壁断面図 …… 22
第23図　池浦遺跡　第２地点　掘削位置図（上）、南壁断面図（下）…… 23
第24図　大園遺跡調査地点（1：5,000）…… 24
第25図　大園遺跡　調査地　掘削位置図（上）、南壁断面図（下）…… 25
第26図　七ノ坪遺跡調査地点（1：5,000）…… 26
第27図　七ノ坪遺跡　第１地点　掘削位置図 …… 27
第28図　七ノ坪遺跡　第１地点　北壁断面図 …… 27
第29図　七ノ坪遺跡　第２地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右）…… 28

挿　表

表１　遺跡別届出件数 …… 1
表２　遺跡別調査件数 …… 2
表３　平成８年度調査結果一覧表 …… 2
表４　遺跡別届出件数（平成７年度追加分）…… 5
表５　遺跡別調査件数（平成７年度追加分）…… 5
表６　平成７年度調査結果一覧表 …… 5

図　版

1　上　池上曽根遺跡第１地点調査トレンチ ／ 下　池上曽根遺跡第２地点調査トレンチ
2　上　豊中遺跡第１地点第１トレンチ ／ 下　豊中遺跡第１地点第３トレンチ
3　上　豊中遺跡第２地点調査トレンチ ／ 下　虫取遺跡第１地点調査トレンチ
4　上　虫取遺跡第２地点調査トレンチ ／ 下　虫取遺跡第３地点調査トレンチ
5　上　板原遺跡第１地点調査トレンチ ／ 下　板原遺跡第２地点調査トレンチ
6　上　板原遺跡第３地点調査トレンチ ／ 下　池浦遺跡第１地点調査トレンチ
7　上　池浦遺跡第２地点調査トレンチ ／ 下　大園遺跡調査地点トレンチ
8　上　七ノ坪遺跡第１地点調査トレンチ ／ 下　七ノ坪遺跡第２地点調査トレンチ

第１章　埋蔵文化財調査の状況

平成８年度の泉大津市における埋蔵文化財届出件数及び調査件数は、表１、２のとおりである。届け出件数は、平成９年１月31日現在で201件と、昨年同時期の185件よりやや増加している。一昨年より同程度の増加がみられ、わずかながらではあるが景気の回復がうかがえるようである。届出工事の種別でみると、個人住宅関連工事が90%（90%）、工場・倉庫0.5%（１%）、店舗・事務所４%（２%）、共同住宅3.5%（７%）、で昨年とほぼ同様の内訳となっている（（　）内は昨年の数字）。遺跡別の発掘調査件数が最も多いのは、豊中遺跡で、次いで池上曽根遺跡、虫取遺跡の順であるが、この傾向は、数年来変わっていない。これらの遺跡内での発掘調査は、そのほとんどが、共同住宅及び個人住宅建設工事に先立つ場合である。しかし、調査対象面積が狭小なため、全面調査に至るものはあまりなく、今年度も豊中遺跡の１件のみにとどまった。また、個人住宅の建設工事に関しては、基礎掘削深度が浅いことから、大半は立会調査とした。また、架線支持柱建設、ガス管敷設及び水道管の敷地内への引き込みは、慎重工事の実施を指示し調査は行っていない。

表１　遺跡別届出件数

（平成８年４月１日～平成９年１月31日）

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	その他
池上曽根遺跡	41	16	20	3				2
豊中遺跡	36	14	14	2		3	3	
虫取遺跡	34	15	16	1			2	
大園遺跡	9	6	2				1	
板原遺跡	13	7	3		1	1		
池浦遺跡	22	4	14	1		3		
穴師遺跡	6		6					
七ノ坪遺跡	23	18	3	1				1
東雲遺跡	14	5	8			1		
助松遺跡	2	1	1					
苅田城跡	2	1					1	
計	201	87 (43%)	87 (43%)	8 (4%)	1 (0.5%)	8 (4%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)

表２　遺跡別調査件数

（平成８年４月１日～平成９年１月31日）

遺跡名	件数	内訳	
		発掘調査	立会調査
池上曽根遺跡	16	2	14
豊中遺跡	13	1	12
虫取遺跡	6	2	4
大園遺跡	4	1	3
板原遺跡	6	2	4
池浦遺跡	4	2	2
七ノ坪遺跡	3	2	1
苅田城跡	1		1
薬師寺跡	1		1
計	54	12	42

表３　平成８年度調査一覧表

（平成８年４月１日～平成９年１月31日）

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考	(調査番号)
4・6	我孫子248－1	虫取遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
4・8	東豊中町1丁目967－4	豊中遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
4・9	森町1丁目269－17	池上曽根遺跡	立会調査	木造２階建社宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
4・11	曽根町1丁目14の一部、21、22、23	池上曽根遺跡	発掘調査	史跡指定地内の現状変更申請(社務所建設)に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師器・瓦器・近世瓦検出。	(9607)
4・20	北豊中町2丁目983－2、－7の一部	豊中遺跡	立会調査	軽量鉄骨２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
4・25	森町1丁目61－3、96－24	池上曽根遺跡	立会調査	木造３階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
5・1	北豊中町3丁目975－4	豊中遺跡	発掘調査	鉄骨造５階共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9608)
5・7	森町2丁目167－2	池上曽根遺跡	立会調査	宅地造成に伴う配水管敷設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
5・14	森町2丁目227－58の一部	池上曽根遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
5・21	宇多88－1、－3、90	虫取遺跡	発掘調査	鉄骨造３階共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9609)

月　日	調　査　地　番	遺　跡　名	調査内容	備　　考	(調査番号)
5・21	東豊中町1丁目15、16	豊中遺跡	立会調査	ガス管入れ替え及び修繕工事による掘削で、遺構遺物等は認められなかった。	
5・23	寿町623－8、－9、－10	池浦遺跡	立会調査	給排水管理設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。	
5・28	曽根町1丁目406－1	池上曽根遺跡	発掘調査	車庫及び事務所建設に先立つ調査で、遺構は認められなかった。土師器検出。	(9610)
5・31	我孫子628－1	板原遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
6・5	北豊中町2丁目465－6	七ノ坪遺跡	発掘調査	調査依頼書に基づく調査で、遺構は認められなかった。土師器検出。	(9611)
6・6	東豊中町2丁目972－5の一部	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
6・12	池浦539	薬師遺跡	発掘調査	小学校体育館建設工事に先立つ調査で、遺構は認められなかった。瓦片検出。	(9612)
6・13	曽根町1丁目62	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
6・17	東豊中町2丁目6－32	豊中遺跡	立会調査	排水管理設工事による掘削で、遺物・遺構は認められなかった。	
6・18	森町2丁目214－1	池上曽根遺跡	立会調査	給水管理設工事による掘削で、遺物・遺構は認められなかった。	
6・20	東豊中町1丁目697－16の一部	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。	
6・20	下条町168－9	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
7・9	池浦町5丁目323－1の一部	池浦遺跡	発掘調査	鉄骨2階建学習塾建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9613)
7・12	東豊中町3－21－1	豊中遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
7・15	北豊中町2丁目366－22	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
7・19	末広町1－331－30	大園遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
7・23	千原町2丁目102－6	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
8・5	森町2丁目227－34	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
8・18	綾井73－3	大園遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
8・20	613－1 北豊中町1丁目614－1 615－1	七ノ坪遺跡	発掘調査	住宅建設に伴う宅地造成工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9614)

月　日	調　査　地　番	遺　跡　名	調査内容	備　　考	(調査番号)
8・20	北豊中町2丁目986－14	豊中遺跡	立会調査	鉄骨平屋建店舗建設工事による掘削で、遺構・遺物は認められなかった。	
8・20	東豊中町1丁目967－37	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
8・29	豊中町3丁目845－4	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
9・10	東豊中町1丁目110－2	豊中遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
9・21	東豊中町2丁目962－16	豊中遺跡	立会調査	木造3階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
9・26	東雲町68の一部	東雲遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
10・11	我孫子216－1	虫取遺跡	発掘調査	木造2階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9615)
10・11	板原1093	板原遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
10・18	森町1丁目52－10	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
10・28	我孫子20－6	虫取遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
11・14	板原 120－5の一部 121－5の一部	板原遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
11・19	綾井1－1の一部	大園遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
12・11	綾井1－1	大園遺跡	発掘調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9616)
12・17	板原1066、1067	板原遺跡	発掘調査	店舗及び平屋建倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9617)
12・20	我孫子617－3の一部	苅田遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
12・25	森町1丁目102－12、13	池上曽根遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
1・8	下条町168－34	池浦遺跡	立会調査	木造2階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
1・17	寿町59－1、452－1	池浦遺跡	発掘調査	鉄骨平屋建スーパーマーケット建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9618)
1・21	板原1234	板原遺跡	発掘調査	鉄骨2階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9619)

表４　遺跡別届出件数（平成７年度追加分）

（平成８年２月１日～平成８年３月31日）

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	その他
池上曽根遺跡	2						1	1
豊中遺跡	4	1		1		1	1	
虫取遺跡	9	2	3	3			1	
大園遺跡	3		3					
板原遺跡	2	1			1			
池浦遺跡	1		1					
七ノ坪遺跡	2			1				1
助松遺跡	1	1						
計	24	5	7	5	1	1	3	2

表５　遺跡別調査件数（平成７年度追加分）

（平成８年２月１日～平成８年３月31日）

遺跡名	件数	内訳	
		発掘調査	立会調査
池上曽根遺跡	1	1	
豊中遺跡	2	1	1
虫取遺跡	3	1	2
大園遺跡	1	1	
東雲遺跡	1		1
穴師遺跡	1		1
苅田遺跡	1		1
城の山跡	1		1
計	11	4	7

表６　平成７年度調査一覧表（追加分）

（平成８年２月１日～平成８年３月31日）

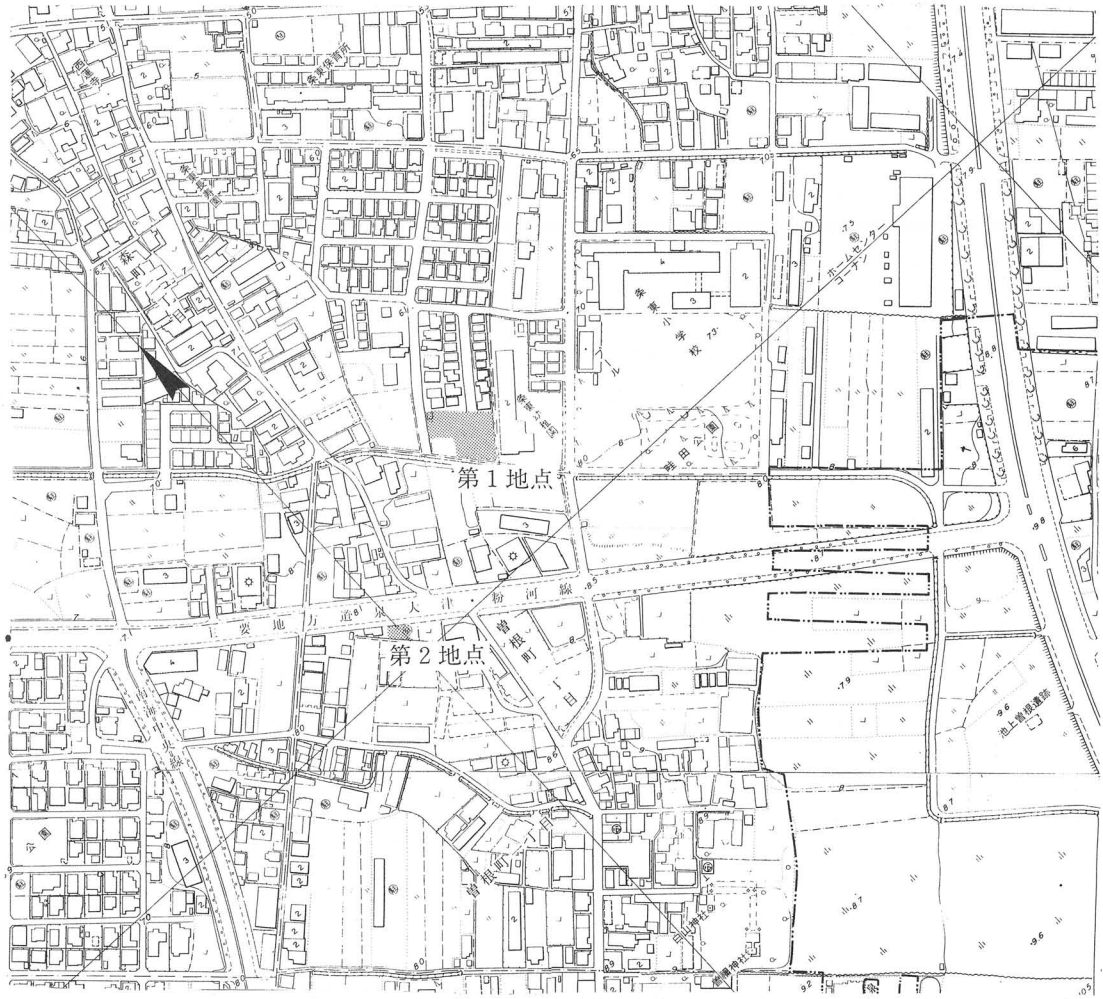
月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考	(調査番号)
2・2	東豊中町2丁目964－7	豊中遺跡	発掘調査	鉄骨コンクリート造４階建共同住宅建設に先立つ発掘調査で、自然流路検出。土師器検出。	(9603)
2・8	豊中町2丁目 458－1の一部 459－1	豊中遺跡 大福寺跡	立会調査	店舗建設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められなかった。	
2・13	豊中町2丁目958－7、－8	森遺跡	立会調査	事務所建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
2・15	豊中町2丁目956－1の一部	豊中遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
2・21	東雲町69－1の一部	東雲遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
2・23	我孫子230－1	虫取遺跡	発掘調査	鉄骨造３階建共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められなかった。	(9604)
2・26 3・7	東豊中町2丁目964－7	豊中遺跡	発掘調査	調査番号9603の発掘調査で、自然流路検出。弥生時代後期～古墳時代の土師器検出。	(TO－40)
2・28	池浦町5丁目 474－5 474－13	穴師遺跡	立会調査	木造２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
3・4	高津町132	城の山	立会調査	軽量鉄骨２階建展示場付き事務所による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	
3・14	森町2丁目214－1の一部	池上曽根遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められなかった。	(9605)
3・29	板原37－5	板原遺跡	発掘調査	自家用倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められなかった。	(9606)
3・30	我孫子248－1の一部	虫取遺跡	立会調査	軽量鉄骨２階建個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。	

1.大園遺跡　2.森　遺　跡　3.牛　滝　塚　4.助松遺跡　5.池上曽根遺跡　6.豊中遺跡　7.七ノ坪遺跡
8.穴師遺跡　9.池浦遺跡　10.東雲遺跡　11.穴師薬師寺跡　12.穴田遺跡　13.板原遺跡　14.虫取遺跡
15.大福寺跡　16.苅田城跡　17.千　原　城　18.真鍋城跡　19.城　の　山

第1図　遺跡分布図

第２章　発掘調査成果

１．池上曽根遺跡



第２図　池上曽根遺跡調査地点図（１：5,000）

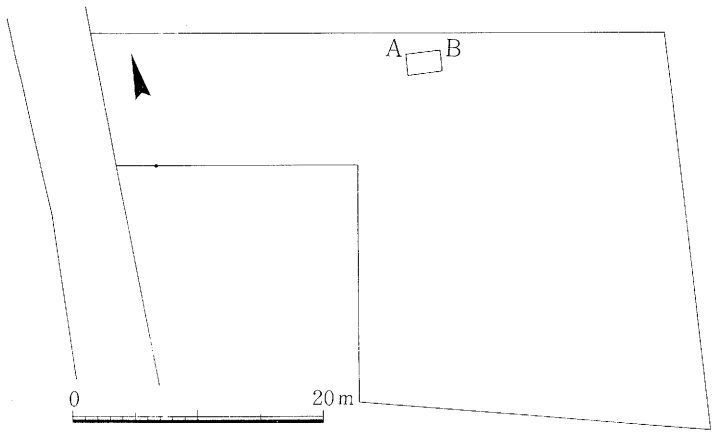
本遺跡は泉大津市の東部北寄りにあり、東西500m、南北1,500mの規模を有する。中心部は和泉市池上町にあり、約114,000㎡が昭和51年に、国の史跡に指定されている。本市における史跡指定地周辺は、面積が狭く基礎掘削深度の浅い建物の建設が多いこともあり、あまり調査が行われておらず、その実態は不明な点が多々ある。しかし、曽根神社付近で、弥生時代後期～古墳時代前期にかけての遺物を多数検出していることから、池上曽根遺跡の中心部分の衰退後に、縁辺部への広がりの可能性を示すものと考えられる。

本年度は、２箇所の発掘調査を実施したが、いずれも全面調査には至っていない。

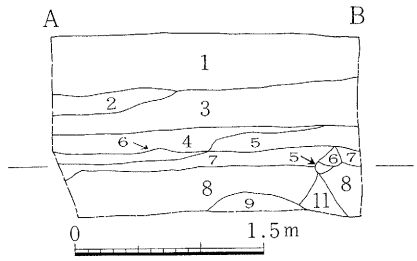
第１地点　森町２丁目214－１の一部（調査番号　9605）

当該地は、遺跡の中央部やや北寄りの地点にあり、約600m東には条東小学校が位置する。共同住宅建設が予定されたため建設工事に先立ち発掘調査を実施した。敷地中央部分より北側に、幅1.2m、長さ2.4mのトレンチを設定し、深さ1.4mまで重機で掘削を行った。その後、人力で、壁面及び床面を削平し、土層断面及び床面の観察を中心とする調査を行った。

トレンチの層序は上層より以下の通りである。まず、盛土（１層・30～40cm）、西側で一部耕土（２層）がみられる。続いて、旧盛土の茶褐色土（３層・16～42cm）、以下、旧耕土の暗灰色度（４層・最大16cm）と暗青灰色土（５層・最大12cm）で、これ以下は、基本的に淡青灰色シルト（７層）、黄色味を帯びた青灰色砂混じりシルト（８層）に至る。東側では、淡青灰色シルト以下、黄色砂、青灰色砂と続き、灰色砂礫（９層）に至る。灰色砂礫より激しい湧水がみられる。遺物・遺構は検出できなかった。建物基礎は盛土内におさまるため、断面実測図作成と、写真撮影を行い本調査をもって終了とした。



第３図　池上曽根遺跡　第１地点　掘削位置図



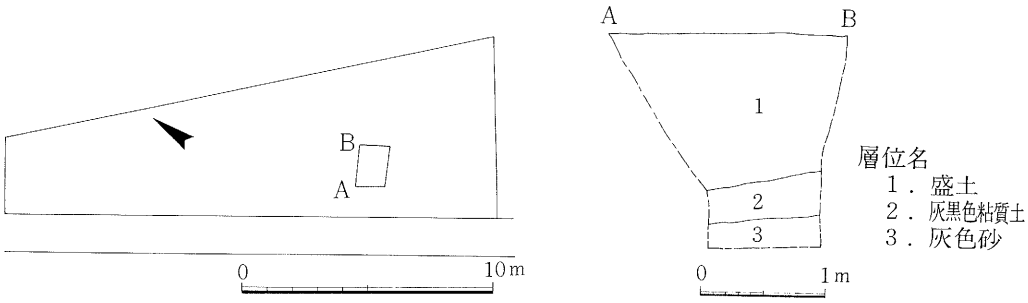
層位名
1．盛　土
2．耕　土
3．旧盛土（茶褐色土）
4．旧耕土（暗灰色土）
5．旧耕土（暗青灰色土）
6．旧床土（茶灰色シルト）
7．淡青灰色シルト
8．黄味がかった青灰色砂まじりシルト
9．灰色砂礫
10．黄色砂
11．８の砂

第４図　池上曽根遺跡　第１地点　北壁断面図

第２地点　曽根町１丁目406－1（調査番号　9610）

当該地は遺跡の西端に位置し、北側で府道松ノ浜曽根線に面している。車庫及び事務所の建設が予定されたため、工事に先立ち発掘調査を実施した。敷地の中央よりやや南寄りに、幅1.1m、長さ1.7mのトレンチを設定し、重機で深さ1.7mまで掘削を行った。その後、人力で壁面及び床面を掘削し、土層断面及び床面の観察を中心とする観察を行った。

トレンチの層序は上層より次の通りである。当該地は前面道路建設の際、道路面と高さをあわせるために盛土がなされており、1.2m近く盛土（１層）が認められる。続いて、灰黒色粘土（２層・25～35cm）、灰色砂（３層）に至る。３層は土師器・須恵器・瓦器を含む遺物包含層であるが、いずれも細片のため図示し得ない。遺構は検出できなかった。断面実測作成と、写真撮影を行い調査を終了した。



第５図　池上曽根遺跡　第２地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右）

2．豊中遺跡

第６図　豊中遺跡調査地点（１：5,000）

豊中遺跡は、本市で最も大規模な調査が継続して行われてきた遺跡である。そのため、遺跡の実態や性格も他の遺跡と比べると明らかになっている部分が多い。時代は、縄文・古墳・平安・中世と複合しているが、国道26号線周辺は古墳時代の、泉大津中央線付近は平安～中世の、それぞれの中心部分になっていたことがうかがえる。さらに遺跡内には寺院の字名も残っており、遺物より平安時代まで遡ると思われるが、遺構は不明である。

本年度は、２箇所の調査を実施し、その内の１箇所で敷地全面には及ばないものの、面的な調査を実施した。

第１地点　東豊中町２丁目964－7（調査番号　9603）

当該地は豊中遺跡のほぼ中央にあり、50m西には国道26号線が位置する。鉄骨造４階建て共同住宅の建設が予定されたため、建設工事に先立ち調査を実施した。当該地の南隣の敷地では、敷地ほぼ全面にわたり竪穴住居を検出したため、遺構の広がりを確認するため、３箇所にトレンチを設定した。いずれも重機での掘削の後、人力で壁面・床面を削平した。

第１トレンチ

敷地の西端に幅1.2m、長さ4.4m、深さ1.1mの規模のトレンチを設定した。盛土（30cm）、旧耕土（30cm）、旧床土（８cm）の下層に土師器を含む灰色粗砂（20～30cm）がみられる。この層以下は、北側では灰色を基調とした砂層が続く。この砂層には遺物は認められない。南側では灰色粘質土の上に炭及び土師器を含む茶灰色粘質土がみられる。この灰色粘質土は北へ向かって、灰色の砂層に潜り込んでいく様相で、流路の肩となる可能性がある。灰茶色粘質土は現況Ｇ．Ｌより約75cmの深さを測る。

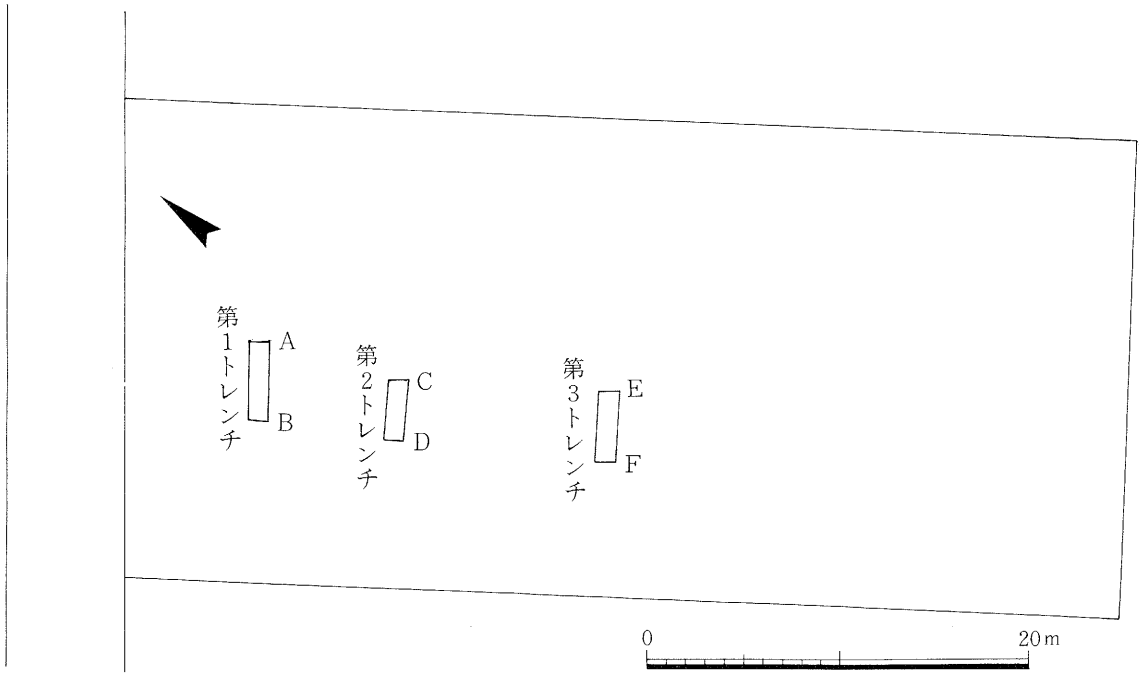
第２トレンチ

第１トレンチの流路の範囲を確認するため、６m東に平行して設定した。幅１m、長さ3.6m、深さ1.1mを測る。第１トレンチでの灰色粗砂は認められるが、流路の肩部分は認められない。

第３トレンチ

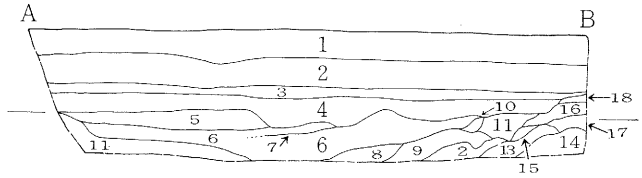
第２トレンチのさらに10m東に設定した。幅１m、長さ3.8 、深さ1.4mを測る。土層の堆積は、粘質土と砂層の交互の堆積が認められるが遺物は全く検出できなかった。

これらの結果より、第１トレンチから第２トレンチの間にかけて南北方向の流路の存在が認められた。建設予定建物の基礎は120cmと、流路肩部分の破壊は免れないので、西側部分60㎡に限り調査を実施することとした。調査は原因者負担となるため、改めて報告することとしたい。



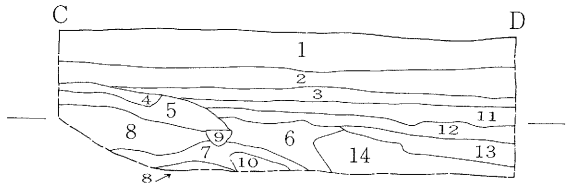
第７図　豊中遺跡　第１地点　掘削位置図

第１トレンチ



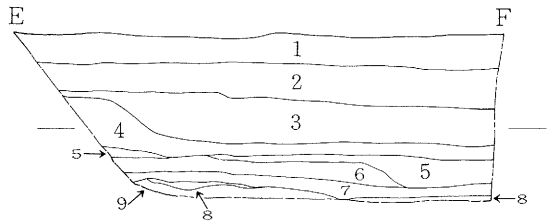
層位名
第１トレンチ
1．盛土（黄褐色土）
2．旧耕土（灰黒色土）
3．床土（オリーブ黄褐色土）
4．灰色粗砂
（土師器含む、φ5㎝の円礫若干含む）
5．オリーブ灰色砂（やや粘質）
6．オリーブ灰色砂礫
（φ5～10cmの円礫多数含む）
7．灰色砂
8．灰黄色粘質土
9．灰色微砂
10．黄灰色シルト
11．灰黄色シルト
12．灰黄色粘質シルト
13．茶灰色粘質土（炭・土師器含む）
14．灰茶色粘質土
（よくしまっている、地山）
15．10より茶色味強い
16．17より淡い
17．13より黄色味強い
18．灰色粗砂
19．オリーブ灰色細砂

第２トレンチ

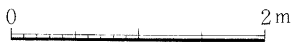


層位名
第２トレンチ
1．～3．第１トレンチに同じ
4．灰色砂礫
5．黄色砂礫
6．灰色粗砂
7．灰色粘質土
8．灰色微砂
9．黄色粘質土
10．黄灰色砂礫
11．第１トレンチの４と同じ
12．暗い土の灰色砂礫（土師器含む）
13．灰黒色粘質土（土師器、炭含む）
14．青オリーブ砂

第３トレンチ



層位名
第３トレンチ
1．2．第１トレンチ、第２トレンチと同じ
3．灰黄色砂礫（φ5～10cmの円礫）
4．灰オリーブ細砂
5．暗茶色粘質土　非常によくしまっている
6．暗灰黒色粘質土　非常によくしまっている
7．暗灰色細砂
8．緑灰色粘質土
9．灰黒色粘質土



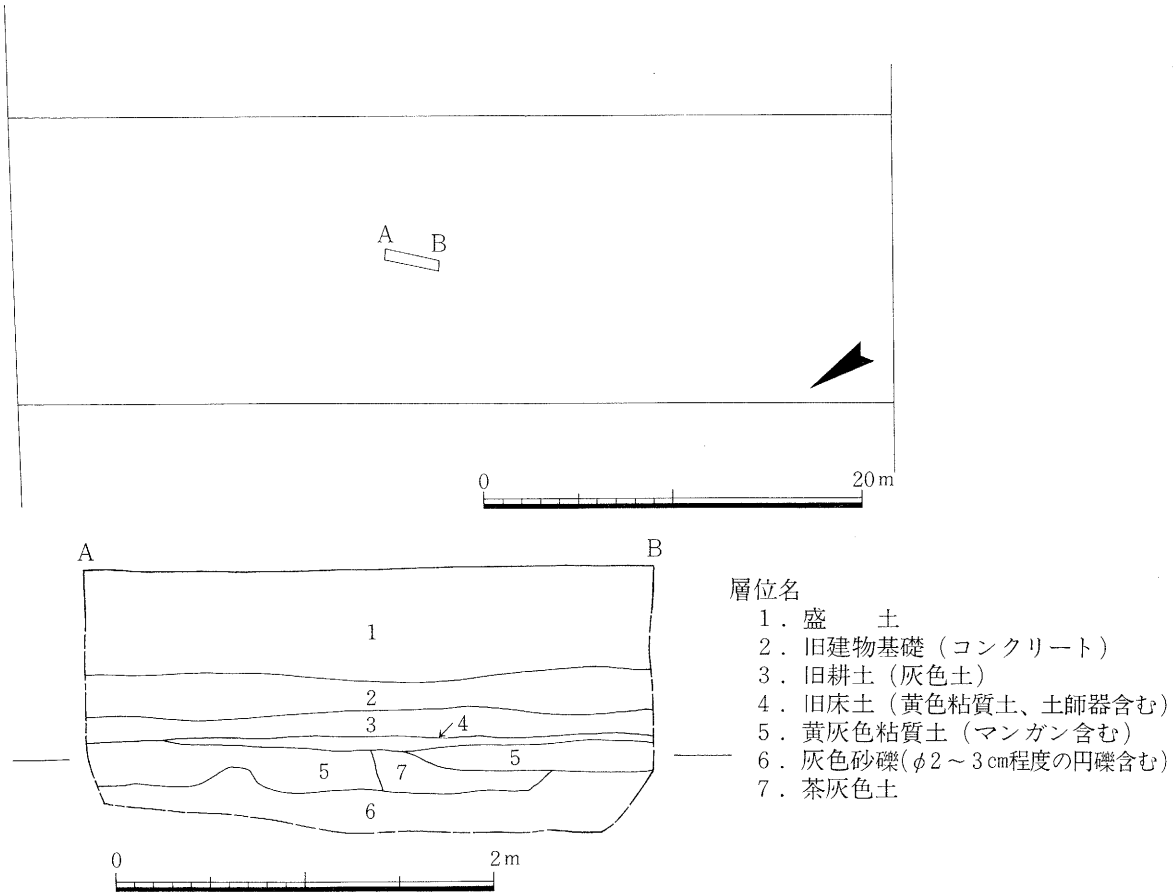
第８図　豊中遺跡　第１地点　東壁断面図

第２地点　北豊中町３丁目975－４（調査番号　9608）

遺跡の中央部やや東寄りに位置し、南側で泉大津中央線の側道部分と接する。共同住宅建設が予定されたため、工事着工に先立ち調査を実施した。まず、敷地のほぼ中央に幅１m、長さ３mのトレンチを設定し、深さ 1.4mまで重機で掘削を行う。続いて、人力で壁面・床面を削平し、観察を実施した。

層序は上層より、盛土（１層・60㎝）、既存建物の基礎と思われるコンクリート（２層・22～26㎝）、旧耕土の灰色土（３層）、旧床土の黄色粘質土（４層）と続く。以下、黄灰色粘質土（５層）、灰色砂礫（６層）と続き茶灰色土（７層）に至る。４層は、土師器を含み遺物包含層であ

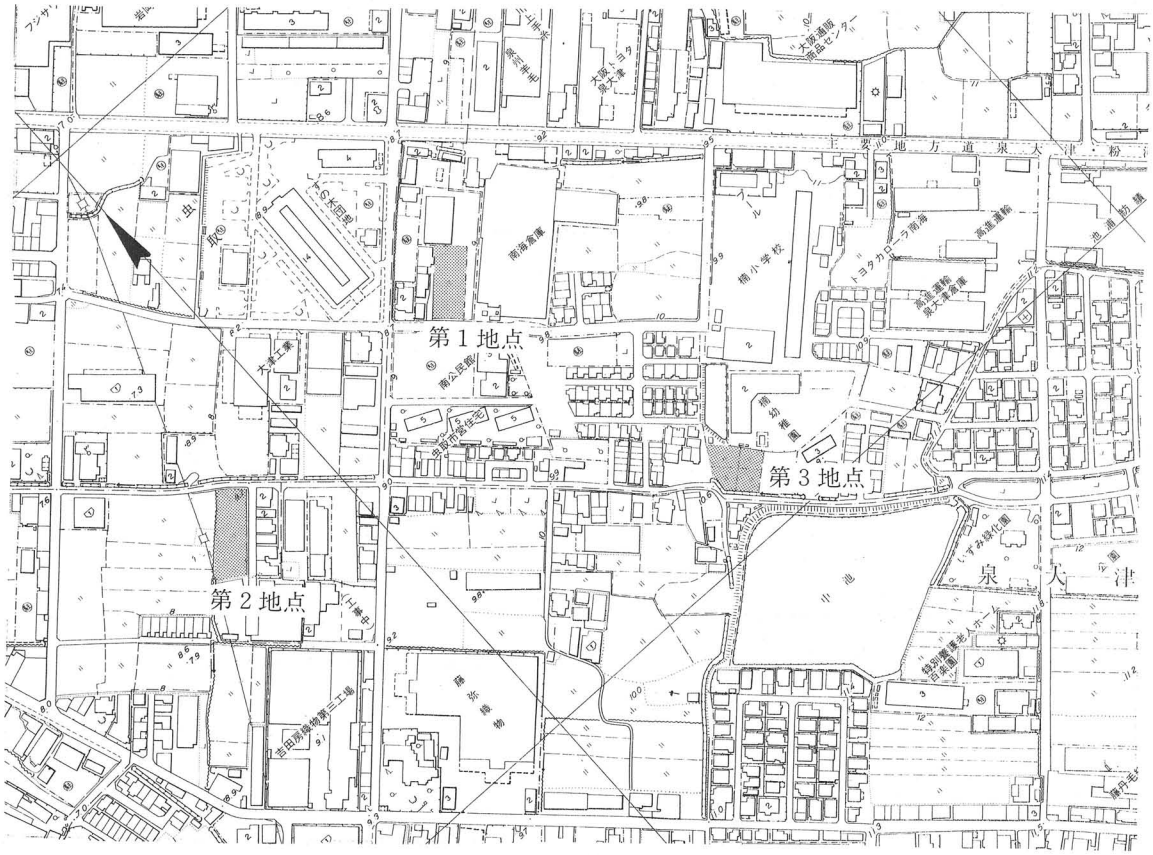
るが、遺構は認められない。建設予定建物の基礎は、遺物包含層まで達しないので、断面実測図と写真撮影を行い調査を終了した。



第９図　豊中遺跡　第２地点　掘削位置図（上）、南壁断面図（下）

3．虫取遺跡

虫取遺跡は、市立南公民館を中心に半径800mの範囲を有する。昭和59年の市教育委員会の調査により旧諸瀬池（現楠小学校）の西側堤防部分で、弥生時代前期のＶ字溝を検出したことにより、その付近が遺跡の中心部分と推測されているが、その後の調査では、明確な遺構の発見はない。しかし、市街地化の進む本市にあっても、比較的耕作地の多い地域であるので、今後も調査が継続して行われるであろう。本年度は３箇所で調査を実施した。



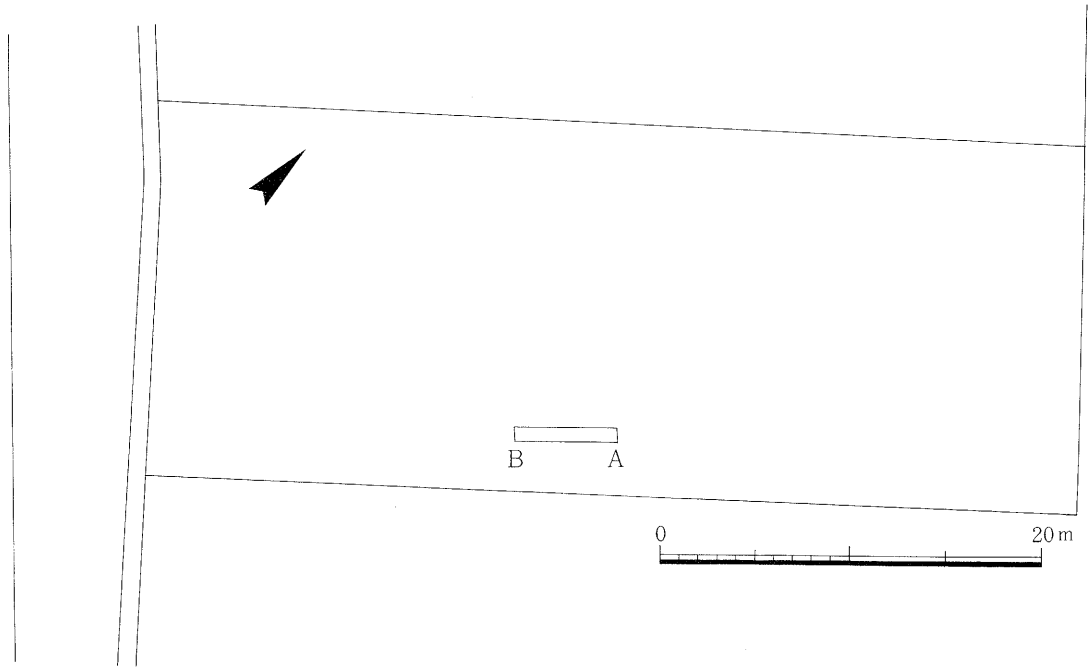
第10図　虫取遺跡調査地点図（１：5,000）

第１地点　我孫子230－1（調査番号　9604）

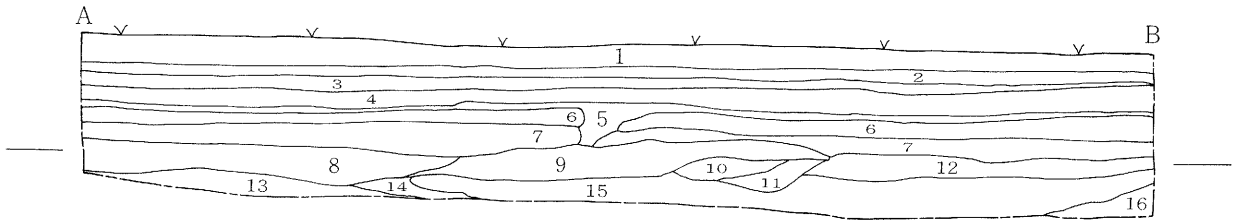
遺跡のほぼ中央部に位置し、前面道路をはさんで10m東に市立南公民館が位置する。共同住宅建設工事に先立って調査を実施した。敷地の西隅に幅0.8m、長さ３mのトレンチを設定し、重機で深さ0.8mまで掘削を行う。その後、人力で壁面・床面観察を実施した。

層序は上層より、表土の耕土（１層）、床土の明黄褐色粘質土（２層）、旧耕土の灰黄色粘質土（３層及び４層）、旧床土（５層）までほぼ水平に堆積が認められる。これらと、暗茶灰色粘質土（６層）を除去すると、黄茶灰色砂混じり粘質土（７層）、暗茶灰色砂混じり粘質土（８層）、茶灰色砂混じり土（９層）が認められるが、これらは土師器片及び弥生土器片を含む遺物包含層で

ある。南側ではこれらの層が薄くなっていくので北側にトレンチを延長し、全長を5.6mとした。延長した北側でも土師器を含む茶灰色砂混じり土（９層）がみられるが、徐々に薄くなっていくようである。北側では、９層に代わり８層に類似した遺物包含層が認められるが（12層）、下層は、砂礫層の堆積が顕著である（13～16層）。遺物は土師器片と弥生土器の底部の破片を検出したが、遺構は認められない。建設予定建物の基礎は遺物包含層まで達しないので、断面実測図作成と写真撮影を行い調査を終了した。



第11図　虫取遺跡　第1地点　掘削位置図



層位名
1．耕土（表土）
2．床土（明黄褐色粘質土）
3．旧耕土（灰黄色粘質土）
4．旧耕土（３より粘質）
5．旧床土（黄褐色土）
6．暗茶灰色粘質土
7．黄茶灰色砂まじり粘質土（遺物包含層）
8．暗茶灰色砂まじり土（土師器含む）
9．茶灰色砂まじり土（弥生土器含む）
10．９より砂質
11．９より茶味強い
12．茶灰色砂まじり土
（８より淡い、土師器含む）
13．灰白色砂礫
14．灰色砂まじり粘土
15．茶灰色砂
16．茶褐色粘質土

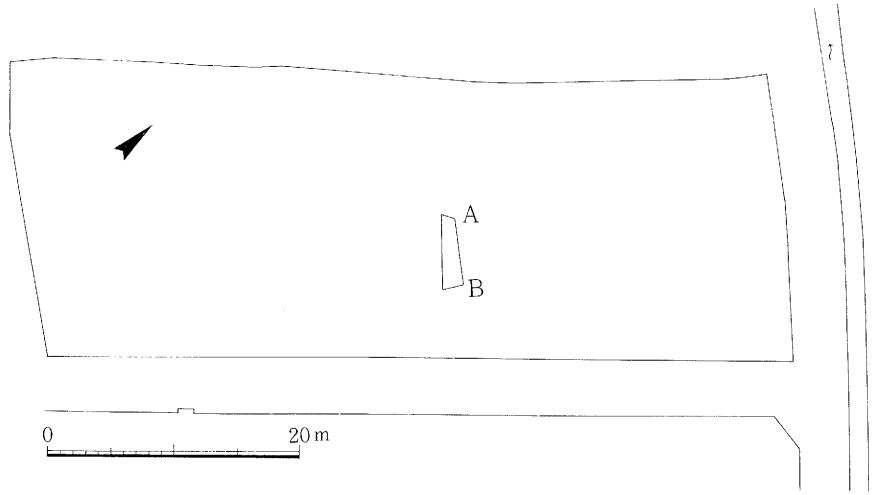
第12図　虫取遺跡　第1地点　東壁断面図

第２地点　宇多88－1、－3、90（調査番号　9609）

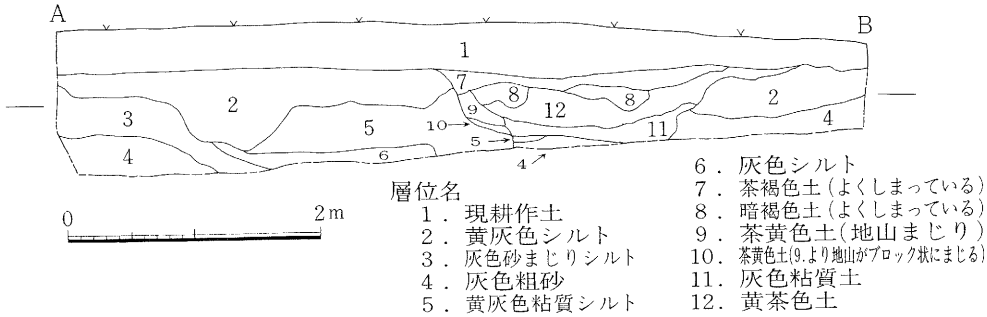
当該地は虫取遺跡の中央部より南西に位置する。共同住宅建設工事に先立って調査を実施した。敷地のほぼ中央部に幅１m、長さ6.3m、の規模のトレンチを設定し、重機で深さ0.7～1.2mまで

掘削を行う。その後、人力で壁面・床面の削平を行い、観察を実施した。

トレンチの層序は、最上層の現在の耕土（層）が約30cm堆積し、その直下より最大幅2.4mの溝状の堆積が認められる。トレンチ西側より約３mの地点である。溝状の堆積を示す土層は、上層より、茶褐色土（７層)、暗茶褐色土（８層)、黄茶色土（12層)、灰色粘質土（11層）の順で、黄灰色粘質シルト（５層・地山)、灰色粗砂（４層）に至る。７層及び８層は非常によくしまっており、５層付近の茶黄色土（９層及び10層）には、地山がブロック状に含まれる。溝状の堆積以外の層序は、黄灰色を基調とした地山である。どの層からも遺物は全く検出できず、時期は不明。今回の予定建設の基礎は盛山内におさまるため、断面実測図と写真撮影を行い調査を終了した。



第13図　虫取遺跡　第２地点　掘削位置図

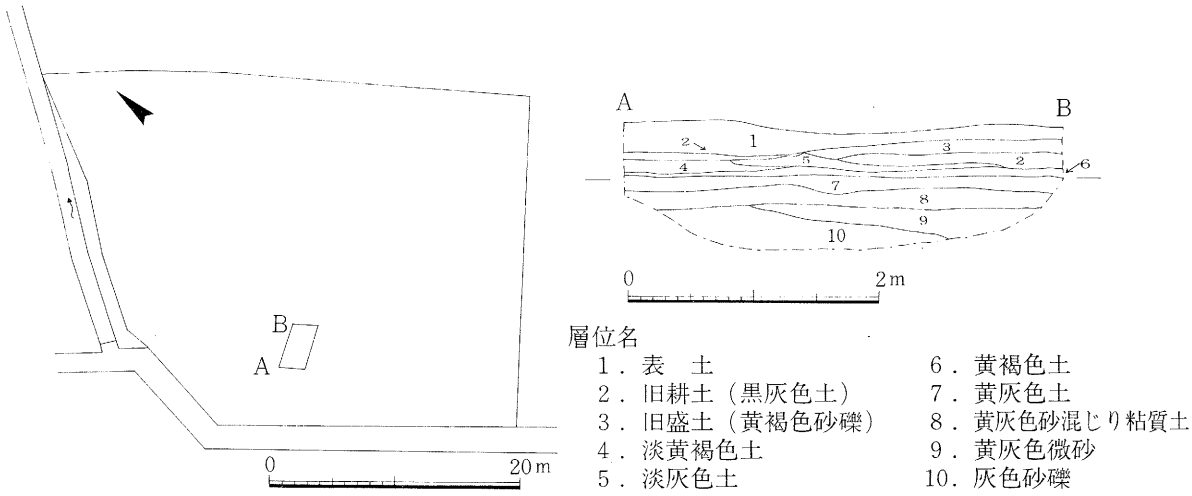


第14図　虫取遺跡　第２地点　北側断面図

第３地点　我孫子216－1（調査番号　9615）

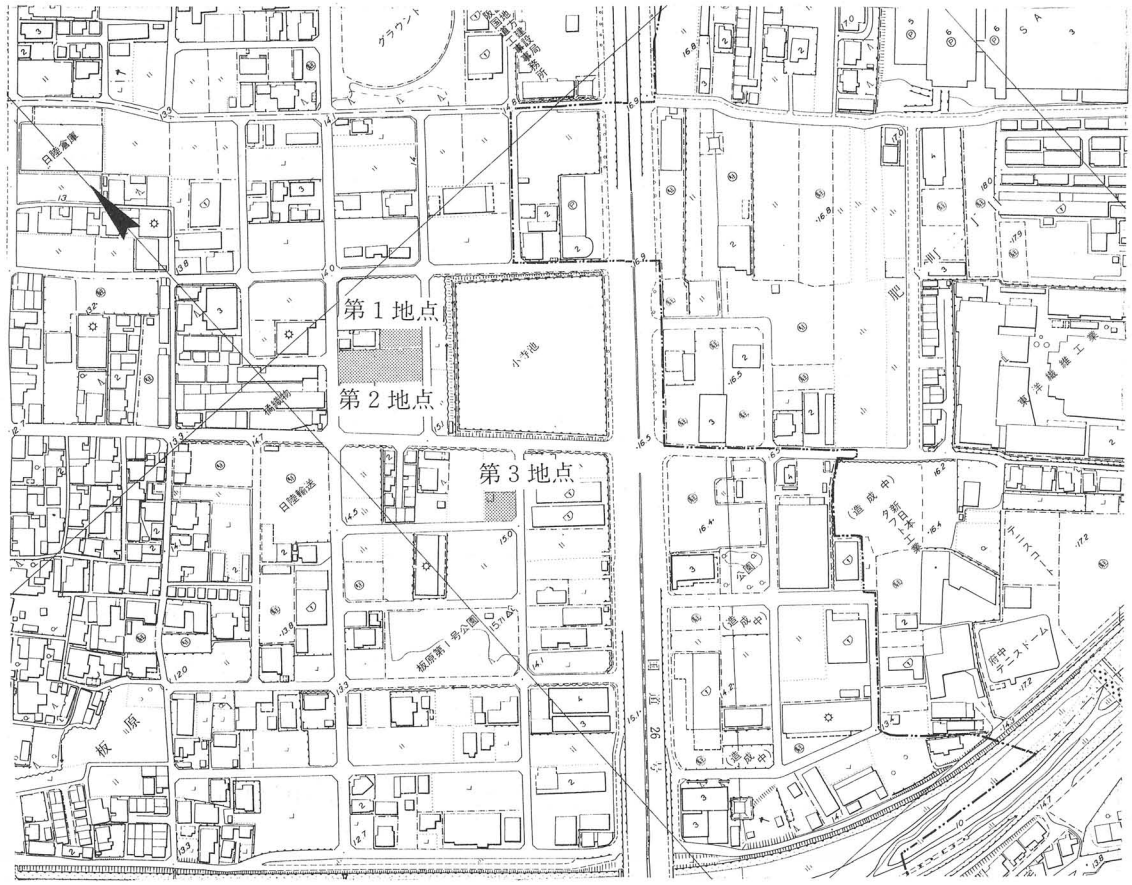
遺跡の中央部より東南部に位置し南側で中池に接する。共同住宅建設工事に先立ち、調査を実施した。敷地の中央西寄りに幅２m長さ3.5mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ１mまで掘削を行う。その後人力で、壁面・床面の削平を行い観察を実施した。

層序は、上層より、表土（1層）、旧耕土の黒灰色土（2層）、旧盛土の黄褐色砂礫（3層）、淡黄褐色土（4層）、淡灰色土（5層）、黄褐色土（6層）、黄灰色土（7層）の順で堆積している。これらの下層に黄灰色砂混じり粘質土（8層）がみられるが、この層は瓦器、土師器を少量含む遺物包含層であるが、今回図示し得る遺物は検出できなかった。この層以下、黄灰色微砂（9層）、灰色砂礫（10層）に至る。遺構も認められなかったため、断面実測図と写真撮影を行い調査を終了した。



第15図　虫取遺跡　第3地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右）

4．板原遺跡



第16図　板原遺跡調査地点図（１：5,000）

板原遺跡は、本市板原町を中心とし、東南部では和泉市肥子町にまたがる遺跡である。主な遺構は、縄文時代の流路や鎌倉時代の堀立柱建設などを検出しているが、いずれも国道26号線部分の調査に伴うものである。その後の調査では、遺物の散布や包含層は認められるが、明確な遺構の検出はみていない。しかしながら、虫取遺跡と同様に耕作地の多く残る地域なので、今後も継続した調査が行われよう。

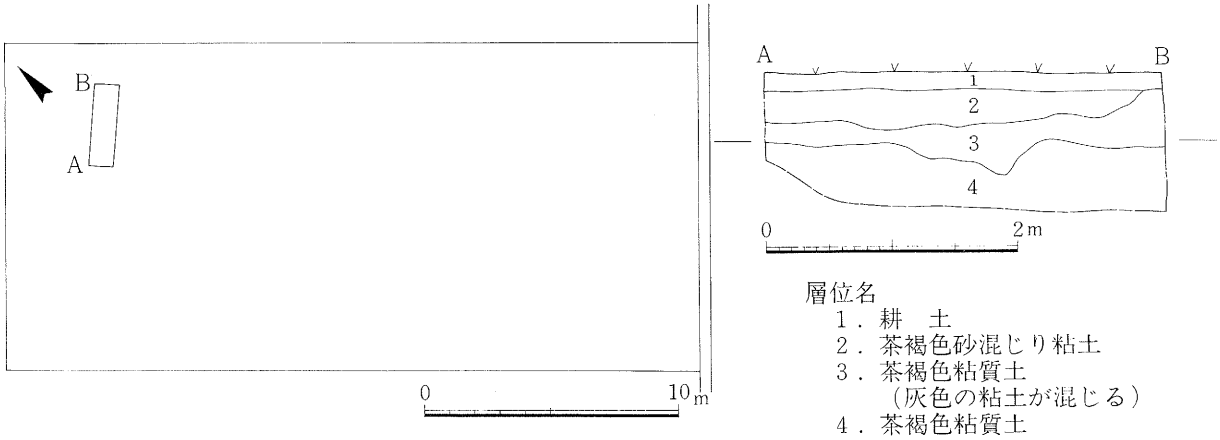
第１地点　板原37－5（調査番号　9606）

遺跡の中央部より西に位置し、東側で小寺池に接する。自家用倉庫建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。

敷地の北隅に幅１ｍ、長さ3.2ｍの規模のトレンチを設定し、重機で深さ1.1ｍまで掘削を行った。その後、人力で壁面・床面を削平し、観察を実施する。

層位は上層より耕土（12cm）、茶褐色砂混じり粘土（26cm）、茶褐色粘土は灰色の粘土が混じり（24～46cm）、以下、茶褐色粘土に至る。耕土以下の堆積は、斬移的で分層が困難である。遺構、

遺物は検出できなかった。

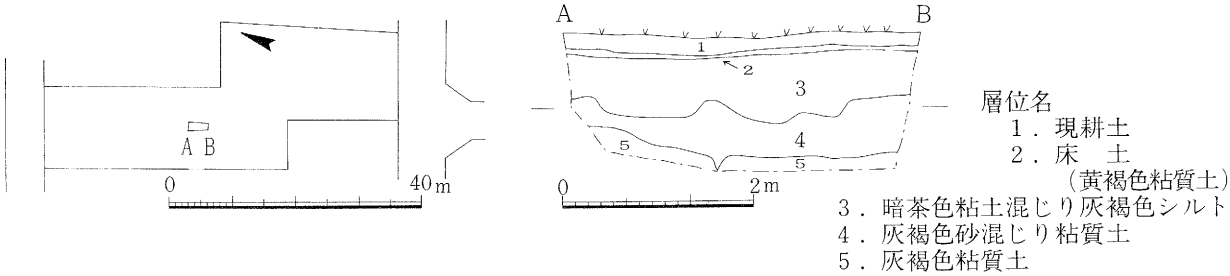


第17図　板原遺跡　第1地点　掘削位置図（左）、北壁断面図（右）

第2地点　板原1066、1067（調査番号9617）

第1地点の南に隣接する。板原1066で店舗の、隣接する1067で平屋建て倉庫の建設がそれぞれ予定されたが、届け出者が同じであったため、一度に調査を実施することとした。平屋建て倉庫は、基礎掘削深度が約30cmで盛土内におさまるため、敷地中央部よりやや北側の店舗部分でトレンチを設定した。トレンチは、幅 1.5m、長さ3mを測り、深さ1mまで重機で掘削した。その後、人力で壁面・断面を削平し、断面観察を実施した。

層位は上層より、現耕作土（1層・12cm）、床土の黄褐色粘質土（2層・3cm）、暗茶色粘土混じり灰褐色シルト（3層・35～50cm）、灰褐色砂混じり粘質土（4層・10～50cm）、で灰褐色粘質土（5層）に至る。床土直下は地山面と思われる。隣接の第1地点とほぼ同様の層位を示す。遺構・遺物は検出できなかったため、断面実測図作成と写真撮影を行い、調査を終了した。



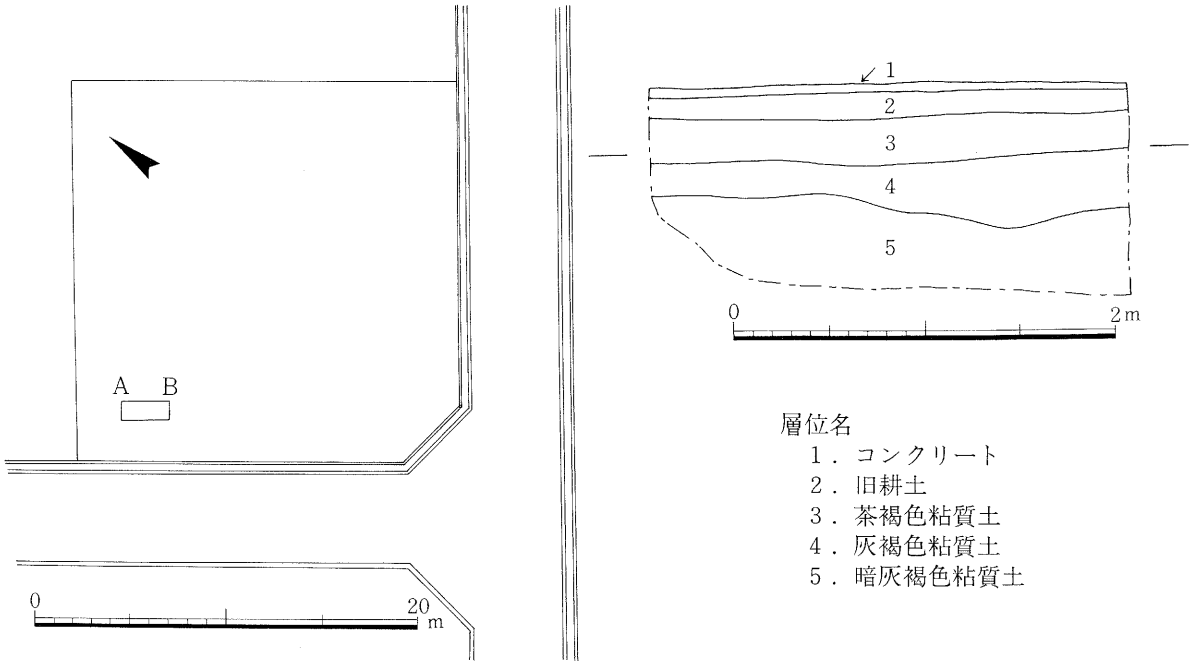
第18図　板原遺跡　第2地点　掘削位置図（左）、西壁断面図（右）

第3地点　板原1234（調査番号　9619）

遺跡の南端に位置し、小寺池より南に500mの地点である。共同住宅建設が予定されたため、

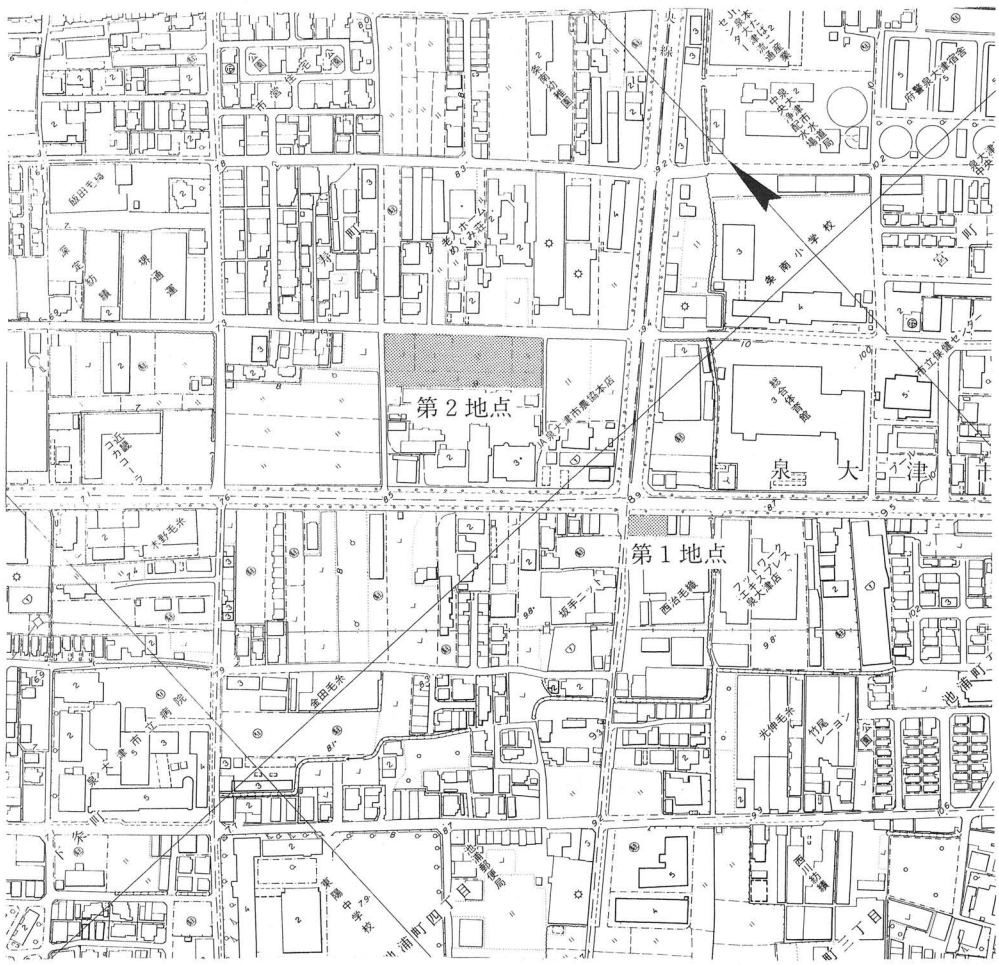
工事に先立ち調査を実施した。

敷地の南隅に幅1.5m、長さ３mの規模のトレンチを設定し、深さ1.5mまで重機で掘削を行った。その後人力で壁面を削平したが、調査中に風雨が強くなったため断面観察のみ実施した。層除は、上層より、コンクリート（１層・４cm)、旧耕土（２層・14cm)、茶褐色粘質土（３層・22cm)、灰褐色粘質土（４層・16～30cm)、暗灰褐粘質土（５層・32cm以上）に至る。第１、第２地点と同様、旧耕土直下で地山面となる。遺構・遺物は認められない。断面実測図及び写真撮影を行い、調査を終了した。



第19図　板原遺跡　第３地点　掘削位置図（左)、北断面図（右）

5．池浦遺跡



第20図　池浦遺跡調査地点図（１：5,000）

昭和51年に実施した、市立東陽中学校北側の調査で、弥生時代前期から古墳時代中期にかけての溝を中心とする遺構が検出された。溝は、人工的なＶ字溝で、住居を区画していたと考えられ、集落は、弥生時代前期中段階には出現していたようである。また、当遺跡の立地からも、池上曽根遺跡と深い関係の遺跡であることが推察される。しかし、この調査以後大規模な調査が無く、周辺部への広がりは不明である。本年度は、遺跡内で２箇所の調査を実施した。

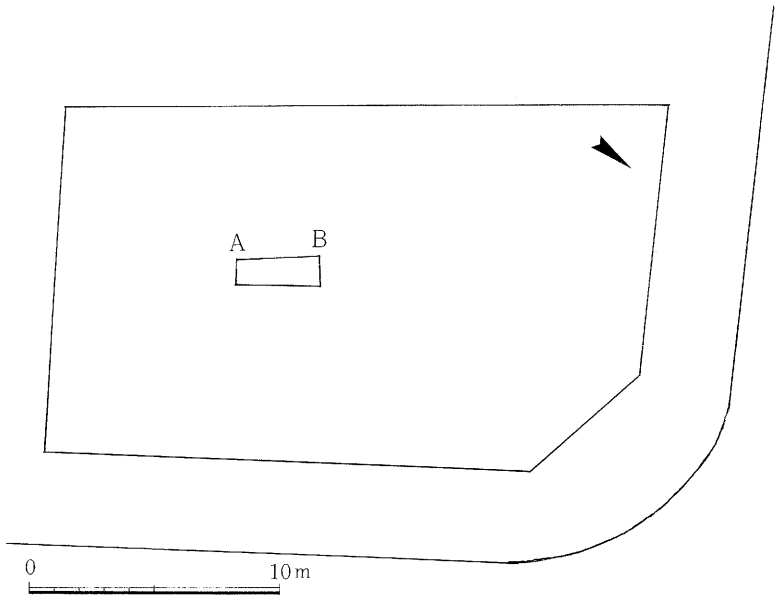
第１地点　池浦町５丁目323－１の一部（調査番号　9613）

遺跡の中央部から東寄りに位置する。西側で南海中央線に、北側で泉大津中央線にそれぞれ接する。鉄骨２階建ての学習塾の建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。

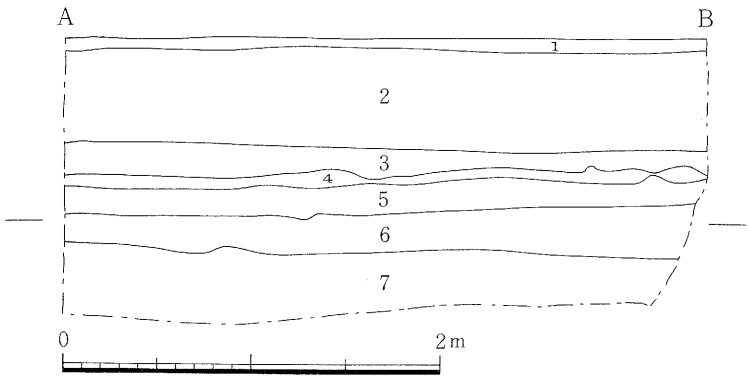
敷地のほぼ中央部に幅１ｍ、長さ3.5ｍの規模のトレンチを設定し、深さ1.5ｍまで重機で掘削を行う。トレンチの層除は上層より、現地表面のコンクリート（１層・10㎝）、旧盛土の黄褐色土（２層・50㎝）、旧耕土の灰黒色土（３層・８㎝）、旧床土の茶灰色砂質土（４層・４～10㎝）、

茶灰色土（５層・18cm)、黄灰色粘質シルト（６層・20cm)、黄灰色粘砂（７層）に至る。５層はしまっており、上層部分にはマンガン粒を多く含む。

遺構・遺物は検出できなかったため、断面実測図及び写真撮影を行い、調査を終了した。



第21図　池浦遺跡　第１地点　掘削位置図



層位名
１．現地表面（コンクリート）
２．旧盛土（黄褐色土）
３．旧耕土（灰黒色土）
４．旧床土（茶灰色砂質土）
５．茶灰色土
（よくしまっている
特に上層部分マンガン粒含む）
６．黄灰色粘質シルト
７．黄灰色粘砂

第22図　池浦遺跡　第１地点　北壁断面図

第２地点　寿町59－１、452－１（調査番号　9618）

遺跡の中央から北寄りに位置する。広範囲な耕作地であったが、スーパーマーケットの建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。建設予定面積が約2,400㎡と広いため、３箇所にトレンチを設定し、断面観察を実施した。掘削は、いずれも重機にて行い、その後人力で壁面・床面を削平した。

第１トレンチ

敷地の西隅に幅1.6m、長さ３mのトレンチを設定し、深さ１mまで掘削した。層除は上層よ

り、耕作土（１層・20cm)、床土の茶褐色土（２層)、灰黄色土（３層・20cm）で３層はわずかに土師器を含む遺物包含層である。続いて、灰黄色粘質土（４層)、灰黄色砂質土（５層）も遺物包含層で、わずかに須恵器を含む。以下、暗灰色粗砂（６層・20cm)、６層に一部灰白色粗砂（７層）が含まれ、黄褐色土（８層・12cm)、黄褐色粘質土（９層・10cm)、暗灰色粘質土（10層）に至る。９層及び10層は地山である。遺構は認められなかった。

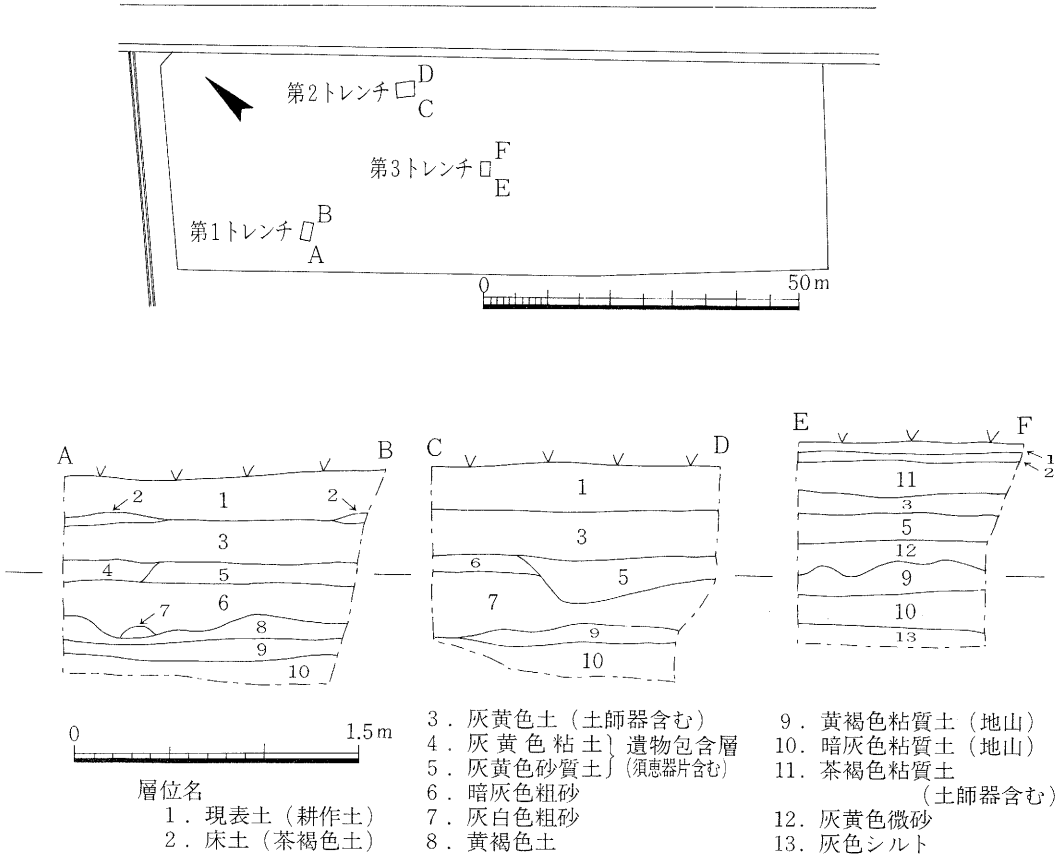
第２トレンチ

第１トレンチの東、約25mの地点に幅２m、長さ３mの規模で設定し、深さ1.1mまで掘削した。層除は上層より耕作土（１層)、以下、２層の床土、４層の灰黄色粘質土及び８層の黄褐色土が存在しないが、基本的には第１トレンチとほぼ同様の堆積を示す。遺物は第１トレンチと同様に包含層にわずかに含まれるのみである。遺構は認められない。

第３トレンチ

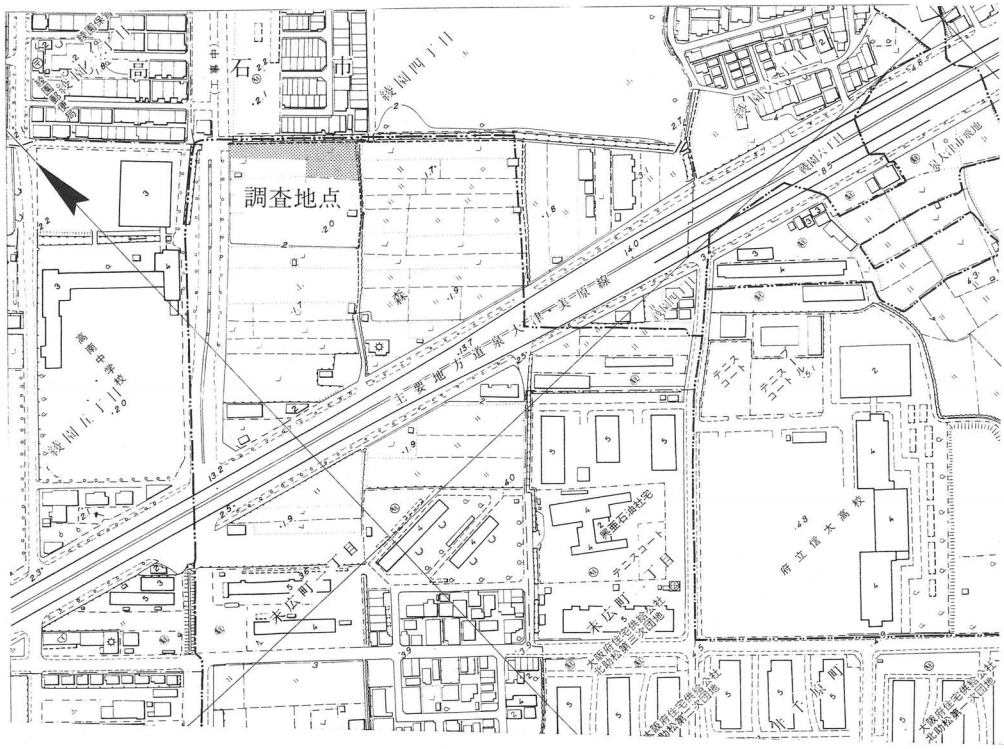
第２トレンチの南、約15mの地点に幅1.5m、長さ２mの規模で設定し、深さ1.1mまで掘削した。層除は上層より、耕作土（１層）及び床土（２層）が約５cmと第１、第２トレンチと比べ非常に薄く堆積している。続いて、茶褐色粘質土（11層・18cm)、灰黄色砂質土（５層・14cm）と続く。この２層は遺物包含層である。以下、灰黄色微砂（12層・10～18cm)、黄褐色粘質土（９層・10～15cm)、暗灰色粘質土（10層・20cm）と続き、灰色シルト（13層）に至る。第１、第２トレンチと同様遺構は認められなかった。

いずれのトレンチにおいても、遺物包含層に含まれるわずかな遺物のみで、遺構は認められなかったため、断面図実測図と写真撮影を行い調査を終了した。



第23図　池浦遺跡　第２地点　掘削位置図（上)、南壁断面図（下）

6．大園遺跡



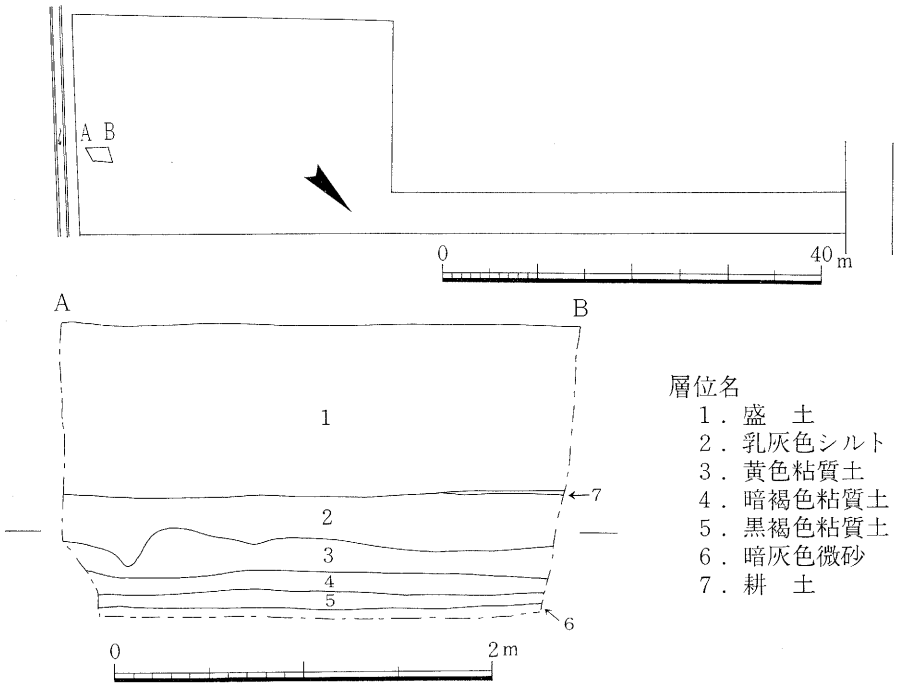
第24図　大園遺跡調査地点図（１：5,000）

当遺跡は、本市、和泉市・高石市の３市にまたがっている。高石市側では、後期旧石器時代のナイフ型石器と、旧石器時代終末期より縄文時代草創期・早期の有舌尖頭期が出土している。しかし、本市においては、明確な遺構・遺物は認められない。本年度は、１箇所で調査を実施した。

調査地点　綾井１−１（調査番号　9616）

当該地は、本市と高石市の市境に位置する。付近は本市、和泉市、高石市がそれぞれ錯綜しているが、当該地は、泉大津市の地番であるので調査を実施した。

敷地の南端に、幅1.5m、長さ2.5mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ1.5mまで掘削を行う。その後、人力で壁面・床面を削り、観察を実施する。トレンチの層除は、上層より盛土（１層・90cm）、遺物包含層である乳灰色シルト（２層・40～18cm）で須恵器、瓦器、土師器を含むがいずれも細片である。以下、黄色粘質土（３層）、暗褐色粘質土（４層）、黒褐色粘質土（５層）、暗灰色微砂（６層）とほぼ水平に堆積する。黄色粘質土（４層）、黒褐色粘質土（５層）、暗灰色微砂（６層）とほぼ水平に堆積する。黄色粘質土以下の粘質土の堆積は、いずれも粘性が非常に強い。また、炭粒を含んでいる。遺構・遺物は認められない。断面実測図・写真撮影を行い、調査を終了した。



第25図　大園遺跡　調査地　掘削位置図（上）、南壁断面図（下）

7．七ノ坪遺跡

第26図　七ノ坪遺跡調査地点図（１：5,000）

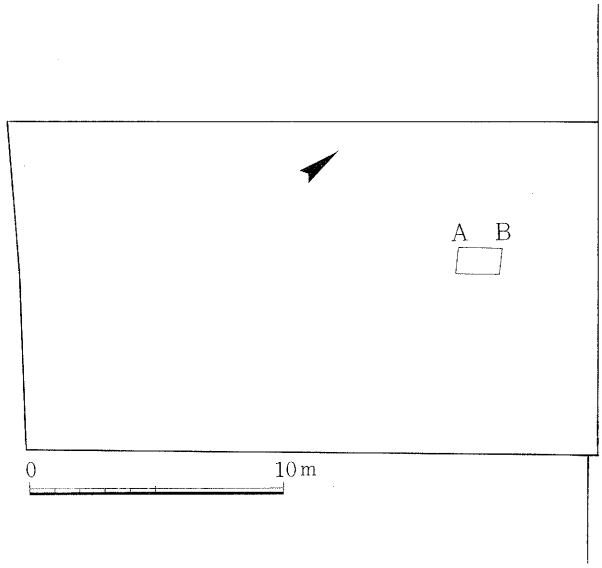
北豊中町一帯に所在する。遺跡の名称は、当該地付近の字名が「七ノ坪」であることによる。周囲は、約１㎞と小規模であるが、弥生時代後期の溝、古墳時代初期の溝、４世紀後半の方形周溝墓、５世紀前半の住居跡、木棺直葬墓などが発見されている複合遺跡である。遺跡の中心部は府立泉大津高校周辺と思われる。高校周辺部での調査は、これまでにも数多く行っているが、遺物の発見はあるものの明確な遺構の検出には至っていない。本年度は、２箇所の調査を実施したがいずれも部分的な調査で終わっている。

第１地点　北豊中町２丁目465－6（調査番号　9611）

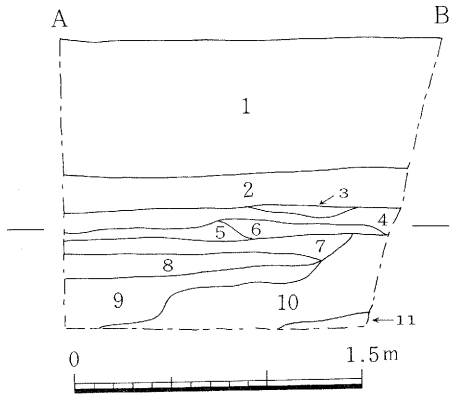
遺跡の南端に位置し、西へ500ｍのところには、府立泉大津高校が存する。建築の有無が明らかでないという施主の意向により、調査依頼書に基づき調査を実施した。

敷地の中央よりやや北よりに幅１ｍ、長さ２ｍの規模のトレンチを設定し、重機で深さ1.5m

まで掘削を行った。トレンチの層除は上層より、盛土（1層・70cm)、旧耕作土の暗灰色土（2層・18cm)、旧床土の乳白色土（3層）と青灰色土（4層)、黄褐色土（5層)、黄色がかった青灰色土（6層)、黄褐色砂混じり土（7層)、褐灰色砂（8層)、灰色粗砂（9層)、灰色粘質土(10層)、灰色微砂（11層）に至る。7層は遺物包含層で土師器をわずかに含む。トレンチの北端では6層の直下から10層が見られる。遺構は認められなかったため、断面実測図と写真撮影を行い、調査を終了した。



第27図　七ノ坪遺跡　第1地点　掘削位置図

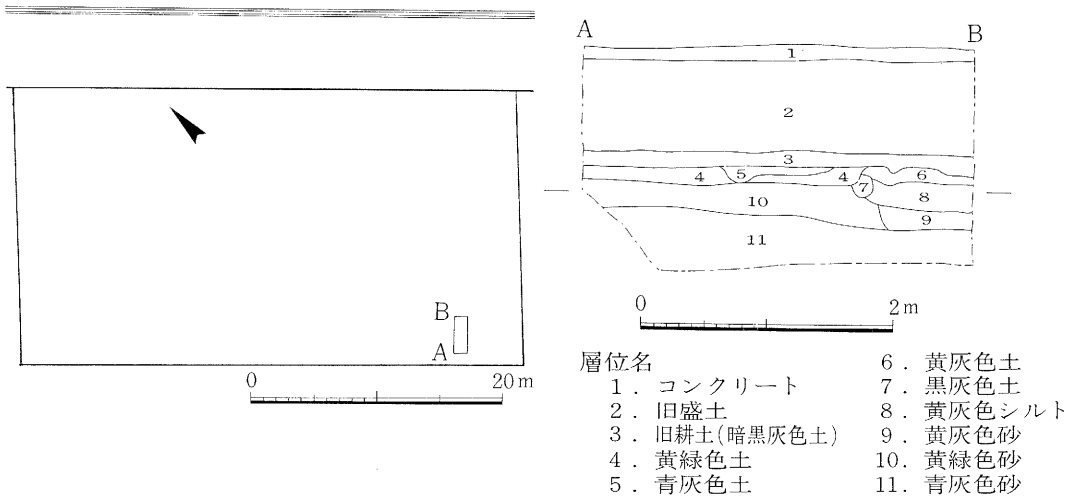


層位名
1．盛　土
2．旧耕土（暗灰色土）
3．旧床土（乳白色土）
4．旧床土（青灰色土）
5．黄褐色土
6．黄味がかった青灰色土
7．黄褐灰色土（砂まじり）
8．褐灰色砂
9．灰色粗砂
10．灰色粘質土
11．灰色微砂

第28図　七ノ坪遺跡　第1地点　北壁断面図

第２地点　北豊中町１丁目613－1、614－1、615－1（調査番号　9614）

府立泉大津高校から約100m北側に位置する。従来駐車場として使用されていたが、分譲住宅建設に伴い宅地造成が行われるため、工事に先立って、調査を実施した。敷地の南隅に、幅１m、長さ３mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ1.7mまで掘削を行う。その後、人力で壁面・床面を削り観察を実施する。トレンチの層除は、上層より、コンクリート（１層)、駐車場造成時のものと思われる旧盛土（２層)、旧耕土の暗黒灰色土（３層）とほぼ水平に堆積がみられる。続いて、黄緑色土（４層）に挟まれて、青灰色土（５層)、その北側に黄灰色土（６層)、以下部分的に黒灰色土（７層）がみられる。黄灰色シルト（８層)、黄灰色砂（９層)、黄緑色砂（10層）と続き、青灰色砂（11層）に至る。11層は上部は、粗砂、下層にいくに従って微砂となる。８～９層の境目は判然としない。遺物・遺構は発見できなかったため、断面実測図及び写真撮影を行い、調査を終了した。



第29図　七ノ坪遺跡　第２地点　掘削位置図（左)、北壁断面図（右）

報告書抄録 その1

ふりがな	いずみおおつしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほう
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報
副書名	
巻次	15
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告
シリーズ番号	29
編著者名	虎間麻実
編集機関	泉大津市教育委員会
所在地	〒595　大阪府泉大津市東雲町9番12号　　TEL 0725－33－1131
発行年月日	西暦　1997年3月24日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所収遺跡	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
いけがみそね 池上曽根	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 もりちょう 森町2丁目214－1の一部	272060		52度 23分 00秒	165度 23分 50秒	19960314	2.8	軽量鉄骨造2階建て共同住宅建設に伴う事前調査
	そねちょう 曽根町1丁目406－1			52度 31分 00秒	165度 58分 00秒	19960528	1.8	車庫及び事務所建設に伴う事前調査
とよなか 豊中	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 ひがしとよなかちょう 東豊中町2丁目964－7	272060		52度 32分 20秒	167度 26分 40秒	19960202	12.7	鉄筋コンクリート造4階建て共同住宅建設に伴う事前調査
	きたとよなかちょう 北豊中町3丁目975－4			52度 21分 50秒	167度 15分 50秒	19960501	3.0	鉄筋コンクリート造5階建て共同住宅建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
池上曽根	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	土師器　破片	
豊中	集落 社寺跡	縄文 古墳 平安 中世	自然河川	土師器　破片	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	

報告書抄録 その2

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所収遺跡	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
むしとり 虫取	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 あびこ 我孫子230－1	272060		53度 51分 30秒	167度 15分 30秒	19960223	2.4	鉄骨造3階建て共同住宅建設に伴う事前調査
	うだ 宇多88－1、－3、90			54度 04分 30秒	167度 15分 50秒	19960521	6.3	鉄骨造3階建て共同住宅建設に伴う事前調査
	我孫子216－1			53度 48分 10秒	167度 27分 10秒	19961011	7.5	木造2階建て共同住宅建設に伴う事前調査
おおぞの 大園	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 あやい 綾井1－1	272060		51度 50分 40秒	164度 47分 40秒	19961211	3.7	軽量鉄骨造2階建て共同住宅建設に伴う事前調査
いたばら 板原	おおさかふいずみおおつし 大阪府泉大津市 いたばら 板原37－5	272060		53度 24分 50秒	168度 03分 10秒	19960329	3.2	鉄骨造2階建て倉庫建設に伴う事前調査
	いたばら 板原1066、1067			53度 26分 15秒	168度 02分 50秒	19961217	4.5	鉄骨造平屋建て店舗及び倉庫建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
虫取	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
大園	包含地 集落	旧石器 古墳 中世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
豊中	集落	縄文 古墳 中世 近世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	

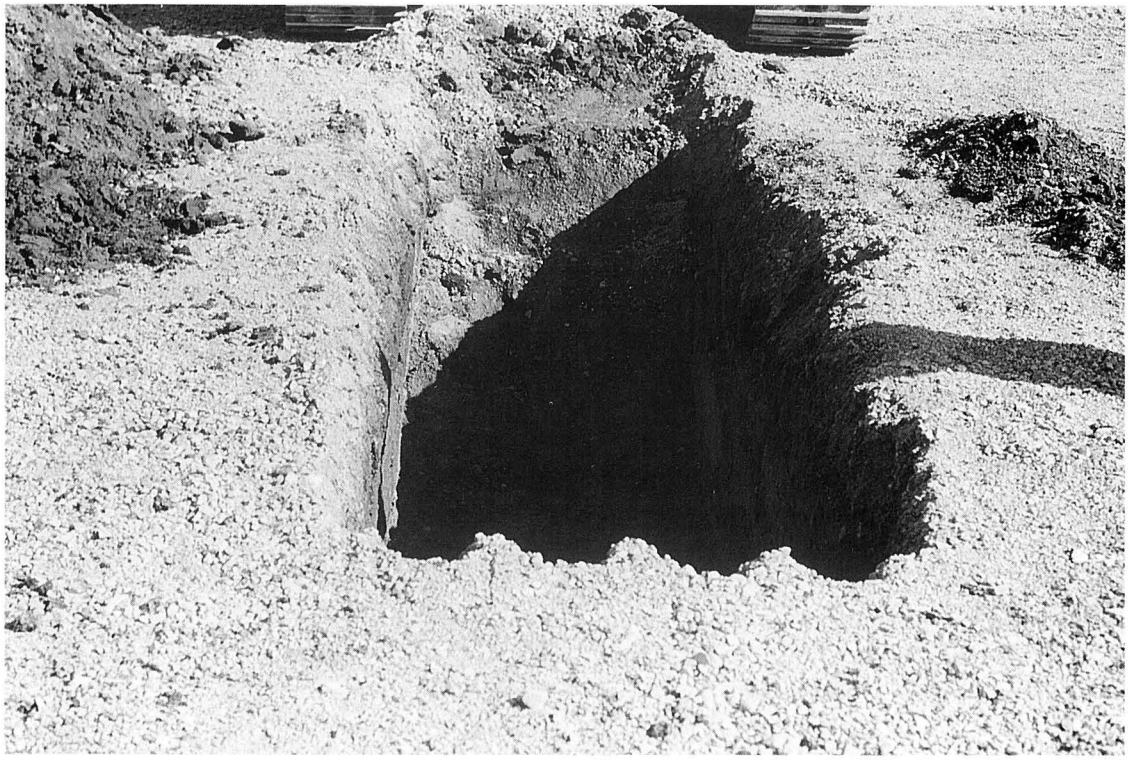
報告書抄録 その3

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所収遺跡	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
板原（いたばら）	大阪府泉大津市（おおさかふいずみおおつし） 板原（いたばら）1234	272060		53度 26分 55秒	168度 10分 50秒	19960121	2.5	鉄骨造2階建て共同住宅建設に伴う事前調査
池浦（いけうら）	大阪府泉大津市（おおさかふいずみおおつし） 池浦町（いけうらちょう）5丁目323－1の一部	272060		53度 11分 55秒	166度 33分 40秒	19960709	3.5	鉄骨造2階建て学習塾建設に伴う事前調査
	寿町（ことぶきちょう）59－1、452－1			53度 14分 10秒	166度 22分 40秒	19960117	12.8	鉄骨造平屋建てスーパーマーケット建設に伴う事前調査
七ノ坪（ひちのつぼ）	大阪府泉大津市（おおさかふいずみおおつし） 北豊中町（きたとよなかちょう）2丁目465－6	272060		52度 41分 50秒	166度 57分 30秒	19960605	2.0	土地開発者からの調査依頼に基づく調査
	北豊中町（きたとよなかちょう）1丁目613－1 614－1 615－1			52度 44分 45秒	166度 42分 00秒	19960820	3.0	宅地造成工事に伴う事前調査

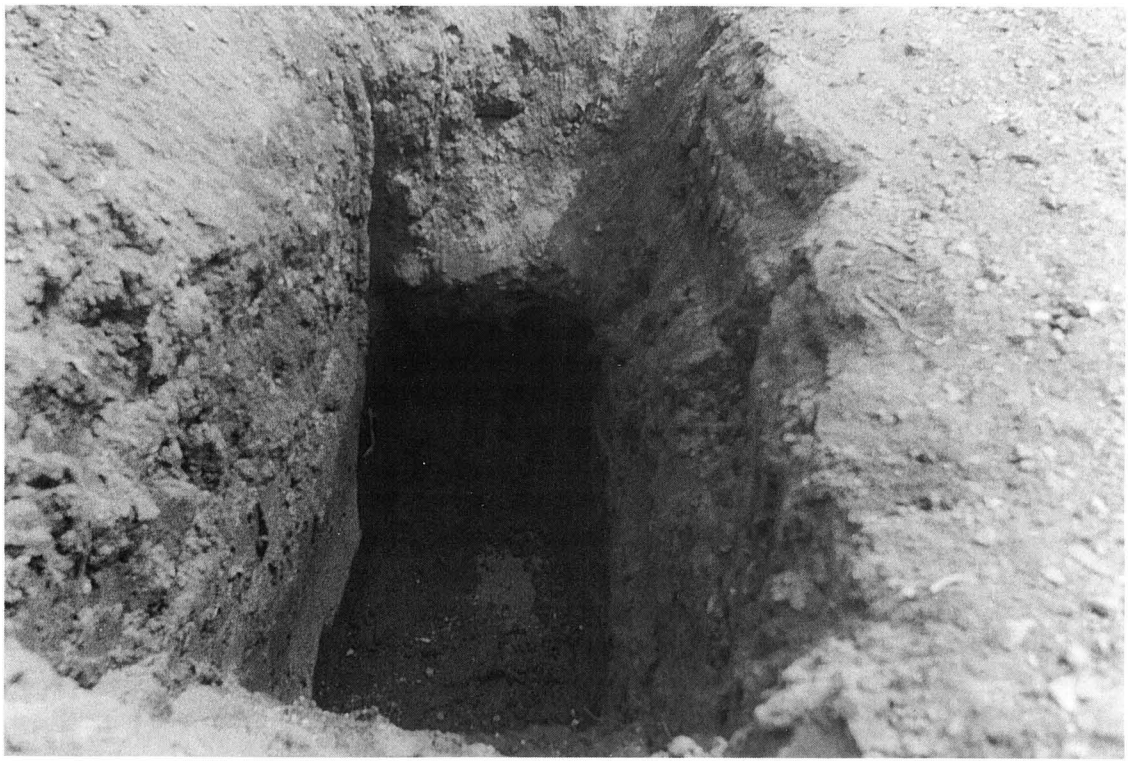
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
板原	集落	縄文 古墳 中世 近世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
池浦	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
七ノ坪	集落 その他の墓	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	土師器片　破片	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	

図　　版

図版一

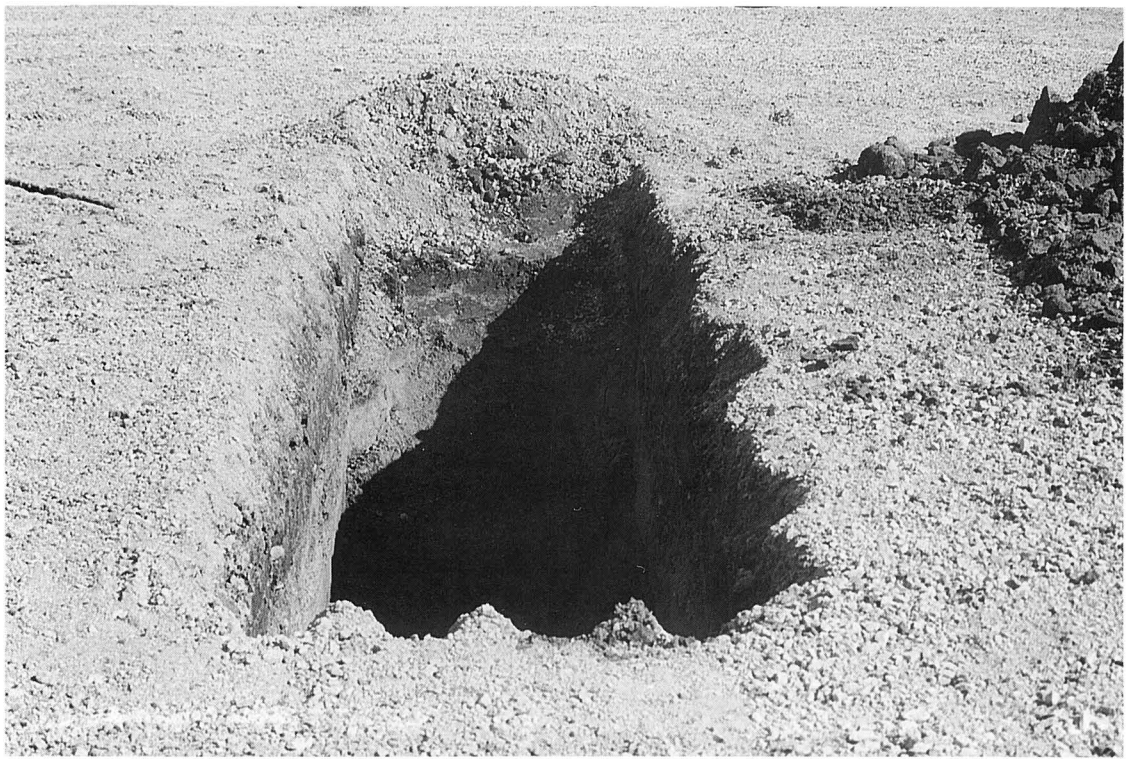


池上曽根遺跡第１地点調査トレンチ



池上曽根遺跡第２地点調査トレンチ

豊中遺跡第１地点第１トレンチ



豊中遺跡第１地点第３トレンチ

図版　三

豊中遺跡第２地点調査トレンチ

虫取遺跡第１地点調査トレンチ

図版　四

虫取遺跡第２地点調査トレンチ

虫取遺跡第３地点調査トレンチ

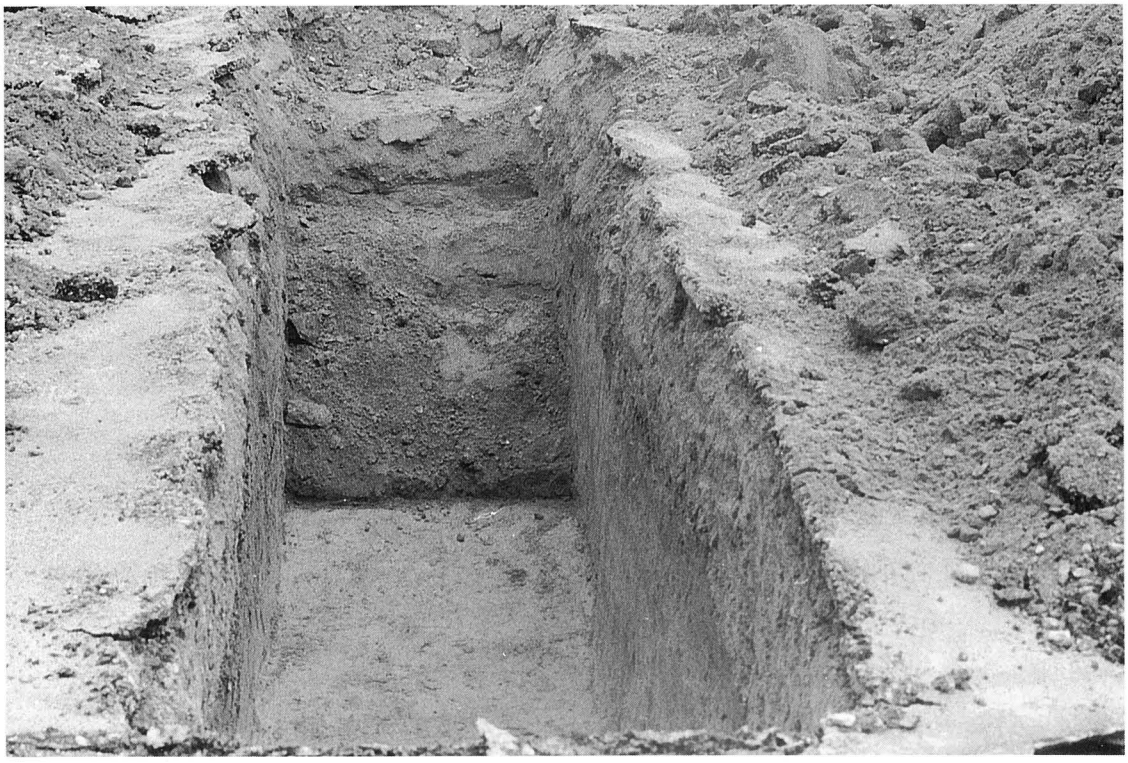
図版　五

板原遺跡第１地点調査トレンチ

板原遺跡第２地点調査トレンチ

図版　六

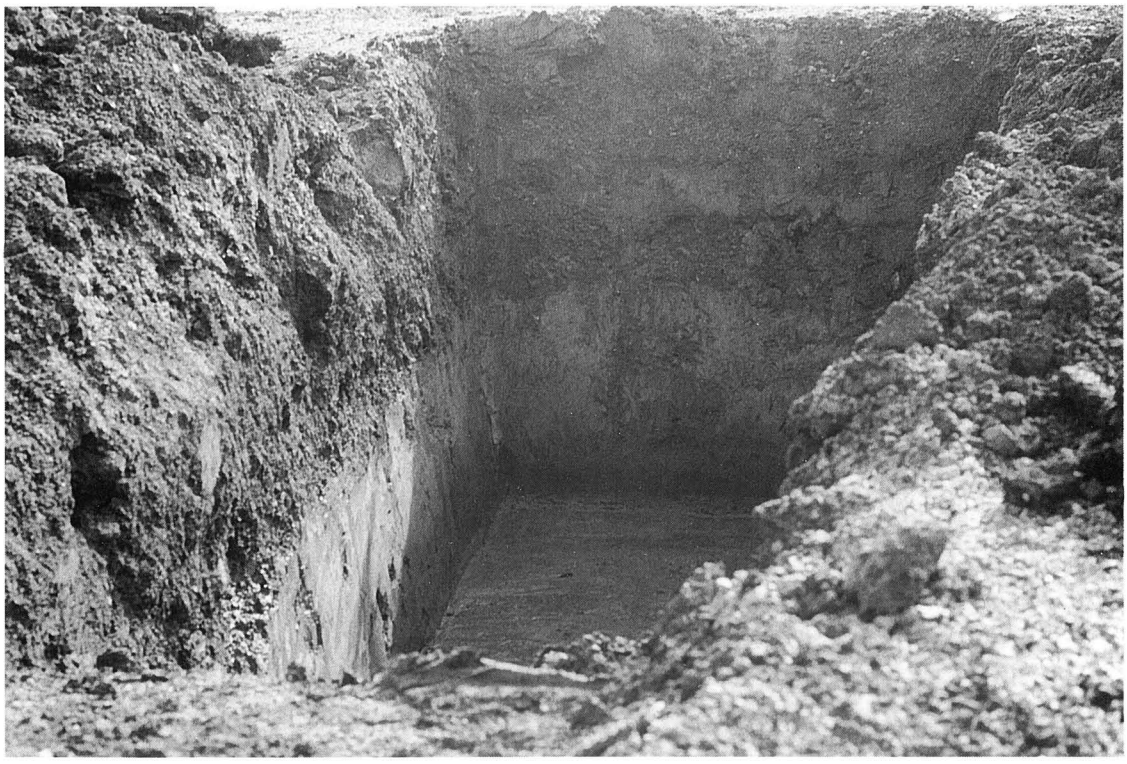
板原遺跡第３地点調査トレンチ



池浦遺跡第１地点調査トレンチ

図版　七

池浦遺跡第２地点第１トレンチ



大園遺跡調査地点トレンチ

図版　八

七ノ坪遺跡第１地点調査トレンチ

七ノ坪遺跡第２地点調査トレンチ

泉大津市文化財調査報告29

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報15

１９９７年３月

発　行　泉大津市教育委員会
編　集　社　会　教　育　課
泉大津市東雲町９番12号

印　刷　和泉市池上町460番地の33
和泉出版印刷株式会社